

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(相生小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・学校運営に関するさらなる理解を深めたい。風の子・太陽の子応援団協力者から前年度の活動の感想や改善点を吸い上げ、本年度の活動へつなげていきたい。
- ・学校運営について熟議できるように、活動の方針を学校・保護者・地域で共有できるように努めていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校行事や授業参観に参加することにより、実際の学校の様子を見ることで、委員ひとりひとりが現状を理解していったと感じる。

『温かくかかわる力』に重点をおいた活動をしていくという共通認識を持ち、自分事として問題を理解し、活発に議論することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

地域人材の活用を基本に、それぞれの立場で多様な意見が出された。またボランティア活動の中で、積極的に児童に話しかけコミュニケーションをとる努力を委員それぞれの立場で実践することができた。

ただ、まだまだ理想に近づけていないことが多いので、地域の行事や学校行事、日々の生活の中で、大人から積極的に児童とコミュニケーションと取っていくことを継続して行っていきたい。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

CSたより・コミスクだより・校内展示・新聞掲載などにより、保護者や地域の方々への認知がさらに広がり、ボランティアへの参加が増加している。

児童や保護者アンケートから『学習の充実度があがった』『あきらめずに挑戦する力が高まっている』ことから、協議結果やCS活動の情報発信は広く浸透していると考える。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

現在の取り組みを継続していきながら、さらなる周知と御協力いただける体制を整えていく

- ・温かくかかわる に重点を置き、積極的にコミュニケーションを大人からとっていかう
- ・学校との最大の接点となる『風の子・太陽の子応援団』に現役の力を呼び込もう